

2007年(平成19年)6月5日(火曜日)



袋詰めされた炭八

出雲市神門町の出雲力一ボン有限公司(石飛裕司社長)が、調湿木炭「炭八」の製造・販売で第五回中国地域ニュービジネス大賞の優秀賞を受賞した。

中国地域ニュービジネス協議会が毎年、中国地域のニュービジネスの育成と振興を図ることを目的として、中国地域において独創的かつ市場性のあるビジネスを展開している企業が受賞する。

同社は二〇〇二年一月操業を開始。親会社の出

業者を表彰するもの。優秀賞は事業規模の大小にかかわりなく「商品・サービスまたはその提供方法」に新規性を有する事業を展開し、将来にわたり発展が期待される企業が受賞する。

同社は島根大学との共同研究により調湿効果の高い木炭の開発、同時にアトピーや小児ぜんそくとの関連性や、カビ、ダニなどの低減化などの実証を進めている。大型運送装置を導入し、品質の安定と、従来一千円から千五百円する商品を六百三十円と半額にした。また床下だけでなく天井裏の木炭についても

炭八の出雲力一ボンが優秀賞

中国地域ニュービジネス協議会

開している企業または経営者企業内においてニュービジネスに対し顕著な功績があると認められる從業者を表彰するもの。

雲土建株式会社が受け入れた建築系廃木材をチップ化し、炭化工場で木炭として製造、袋詰めしたもの販売している。調

湿木炭「炭八」は、家屋の床下へ敷くと、床下が乾燥し、家屋を長寿命化することが可能。これまで木炭化し調湿材として行われていたが、コストが高いことと、調湿効果が明確でないことから広く一般に普及するまでには至らなかつた。

同社は島根大学との共同研究により調湿効果の高い木炭の開発、同時にアトピーや小児ぜんそくとの関連性や、カビ、ダニなどの低減化などの実証を進めている。大型運送装置を導入し、品質の安定と、従来一千円から千五百円する商品を六百三十円と半額にした。また床下だけでなく天井裏の木炭についても

出雲土建の賃貸マンション「炭の家」で使用し、過去三年間で出雲市、斐川町で受注実績二十一棟(三百一十七戸)、引渡実績十三棟(二百十九戸)、売り上げが三十億円、入住率98%を誇る。また、

内販売だが、今後は「出雲屋炭八」のブランド名で七千七百五十万円で、売り上げ高の80%が県内販売だが、今後は「出雲屋炭八」のブランド名で確立したノウハウを全国各地に提供することも視野に入れた展開を計画している。

これで県内の同賞受賞は、大賞を含め十五社となつた。島根県内に同賞受賞は、大賞を含め十五社となつた。